

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 29-1

問1)

人気ハンバーガーショップの星稜バーガーでは、テリヤキバーガー（TB）とチーズバーガー（CB）の二種類を製造・販売している。なお、星稜バーガーでは、直接標準原価計算を採用している。

- ① 両ハンバーガーは、仕込部で材料を仕入れ仕込んだ後、調理部でそれぞれのバーガーを調理して完成する。これらの2つの部門における各バーガー1個あたりの標準作業時間と月間の生産能力は、次のとおりである。

	仕込部	調理部
TB 1個あたりの標準作業時間	1分	3分
CB 1個あたりの標準作業時間	2分	2分
月間生産能力	10,000分	18,000分

- ② 近隣の人口と材料の調達から検討した結果、TBの需要限度は月間5,000個、CBの需要限度は月間4,000個であり、この範囲内であれば、日々何個でも売れると予想される。ただ、鮮度命の星稜バーガーは、作り置きをしないので、販売量を超えた製造量としない。

- ③ 両バーガー1個当たりのデータ

	TB	CB
販売単価	1,000円	1,000円
1個あたり標準変動費	500円	400円

なお、両バーガー共通にかかる、星稜バーガーの月間固定費予算は、2,200,000円とした。

上記の条件にもとづき、次の問いに答えなさい。

【設問1】 テリヤキバーガー（TB）とチーズバーガー（CB）を月間何個ずつ生産すれば、最大の営業利益が得られるか。

【設問2】 設問1のときの、税引前の月間営業利益はいくらか。

【設問3】 CBについては、将来、材料のチーズが高騰し1個当たり変動費がさらに高くなる可能性がある。そこで、他の条件に変化はないものとして、このCB1個あたりのチーズ代が、現状よりいくら以上高くなれば、設問1で求めたTBとCBの組合せ個数が変化するか。

解1)

【設問1】

テリヤキバーガー（TB）を月間 個、チーズバーガー（CB）を 個
生産すれば、最大の営業利益が得られる。

【設問2】

税引前の月間営業利益 = 円

【設問3】

チーズバーガー（CB）1個あたりのチーズ代が 円以上高くなれば、設問1で求めた組合せの個数は変化する。